ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-25] 大規模住民アンケートデータを用いた子どもの医療費助成の評価要因の分析

*堀内 仁[1]、秋山 祐樹[1] (1. 東京都市大学)

キーワード：住民調査データ、医療費助成、統計分析、子育て支援、重回帰分析

政府が掲げる少子化対策の一環として、令和5年6月に「こども未来戦略方針」が閣議決定された。この方針に基づき、従来、自治体による医療費助成拡充の障壁とされてきた国の減額調整措置が廃止された。これを受けて全国の自治体で高校生世代までの助成を拡充する動きが加速しているが、制度設計は各自治体に委ねられているため、対象年齢や所得制限の有無といった助成内容に大きな地域差が生じている。さらに、子育て世帯の誘致を目的とした自治体間の助成競争が財政を圧迫するという構造的な課題も顕在化している。そこで本研究では、大規模な住民アンケートデータを用いて、住民がこどもの医療費助成制度のどのような点を評価し、重要視しているのかを定量的に分析する。その分析結果に基づき、受益者の満足度と制度の持続可能性を両立させるための具体的な政策提言を行い、今後の適切な医療費助成のあり方を示すことを目的とする。

©一般社団法人地理情報システム学会